

技術研究本部 陸上装備研究所一般開放でPR

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、10月11日（土）、研究中の陸上自衛隊車両や施設器材などの展示が行われた、技術研究本部陸上装備研究所（相模原市中央区）の一般開放で募集広報活動を行った。

当日は、相模原地域募集相談員7名の支援を受け、自衛隊（陸・海・空）の概要説明パネル及び非常用糧食の展示を行った。広報ブースには、「自衛隊に入隊するには、どうすればいいのですか？」という高校生が訪れ、広報官が丁寧に説明を行った。

相模原地域事務所は、「今後も、地域のイベントなどの場を活用して募集広報活動を行っていききたい」としている。



広報ブース

相模原の私立高校で職業理解ガイダンス

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、10月17日（金）、光明学園相模原高等学校（相模原市中央区）において、1学年を対象とした「職業理解ガイダンス」に参加した。

このガイダンスでは、24分野の職業紹介が行われ、自衛隊は自衛官候補生と一般曹候補生の説明を（45分の説明を2回）行ない、25名の生徒が受講した。生徒から、「ブルーインパルスを操縦するにはどうすればいいのですか？」「入隊試験には内申書がありますか？」「自衛官は結婚出来るのですか？」等の質問が出ていた。

相模原地域事務所は、「同校を含め、今後も学校との連携を密にし、募集広報活動を行っていききたい」としている。



説明会の様子

地域のお祭りで、災害をPR

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 縣1陸尉）は、10月18日（土）、「ふるさと港北ふれあいまつり2014」に参加し、自衛隊の災害派遣活動についてPRした。

このイベントには約8万人が来場し、1/2tトラック（パジェロタイプ）の展示や、子供用迷彩服の試着、そして、今年発生した様々な自然災害に伴う災害派遣活動の写真パネルを展示した広報ブースにも大勢の方々が訪れ、豪雪被害や広島県の土砂災害、御嶽山で懸命に救助活動にあたる自衛官の姿を食い入るように見ている。また、子供用迷彩服の試着コーナーでは、展示車両の前で思い思いのポーズをとるわが子を写真に収めようとする母親の列ができていた。

横浜出張所では「これからも、地域のお祭りなどの場を積極的に活用して、自衛隊をPRしていく」としている。



1/2tトラック（パジェロタイプ）の前で記念撮影